

教育制度論

単位数	ナンバリングコード	
2	DTP273	
 	教員名	河合 宣孝
	専門	学校経営、教師教育、授業のコンサルテーション
	出身校等	筑波大学大学院教育研究科修了(教育学修士)
	現職	北海道情報大学 非常勤講師
授業形態		
前期印刷授業・後期印刷授業		
授業範囲	試験範囲	
教科書：第1章～第11章	授業範囲すべて	
	【試験時参照許可物】 一切自由 ※ただしWebページ（通信教育部POLITEを除く） と生成系AIの参照は不可とする。	
科目の概要		
<p>この授業では、第一に、教育制度のしくみ等について教育基本法（現行法）を手がかりとして、制度の目的および中心理念である生涯にわたる学びと教育の機会均等について学び、その展開のありかたに深く関わる地方教育行政のしくみと教職員の制度について学びます。</p> <p>第二に、就学前教育と義務教育、後期中等教育、高等教育に関する制度とそれらの領域における教育の実現に関わる政策と制度について学びます。</p> <p>第三に、制度の具体的展開である学校の経営について、学校・学級の運営やそれらの中心となる教育課程の経営について学びます。</p> <p>教育基本法や学校教育法をはじめとする関係法令や制度・施策が実際にどのように学校で運用され、いかされているのかという視点で、関係法令や制度・施策と教育の現場をつなぐことを考えながら学習を進めます。</p>		
授業における学修の到達目標		
<ol style="list-style-type: none">1. 教育基本法の理念がどのようにしくみや法律で実現され制度が運用されているかについて理解し、説明することができる。2. 国民の幸福追求に資する教育を展開するためには、学校教育法をはじめとする関連法令や仕組みをどのように学校教育において生かし、運用したらよいかについて考え、方策について構想することができる。3. 教育制度を支え様々な施策を実施する教育行政のしくみと実際について理解し、説明することができる。4. 学校組織の実際、学校と地域の連携及び多職種との連携、学校安全への対応について説明することができる。5. 現在の学校・子どもをめぐる課題について考察し、その解決方策について構想することができる。		
講義の方針・計画		
第1回 ガイダンス、教育制度を学ぶことの意義 第2回 教育制度の目的(しくみと法律、変遷、課題) 第3回 生涯にわたる学び(しくみと法律、変遷、課題)		

講義の方針・計画

- 第4回 教育の機会均等(しくみと法律、変遷、課題)
- 第5回 地方教育行政(しくみと法律、変遷、課題)
- 第6回 教職員(しくみと法律、変遷、課題)
- 第7回 就学前教育(しくみと法律、変遷、課題)
- 第8回 後期中等教育・高等教育(しくみと法律、変遷、課題)
- 第9回 教育政策の計画化(1)(しくみと法律、変遷)
- 第10回 教育政策の計画化(2)(課題、教育振興基本計画)
- 第11回 学校の経営(1)(しくみと法律、変遷、課題)
- 第12回 学校の経営(2)(児童生徒に関する法規：いじめ防止対策推進法等)
- 第13回 学級の経営(しくみと法律、変遷、課題)
- 第14回 教育課程の経営(1)(しくみと法律、変遷)
- 第15回 教育課程の経営(2)(課題、カリキュラムマネジメントの実際)

準備学習

印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を2単位で90時間かけて学習することを目安としています。
わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法

印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却します。

成績評価の方法およびその基準

科目試験による評価100%

教科書

書名：新・教育の制度と経営 [四訂版]
著者名：本図愛実・末富 芳
発行所：学事出版株式会社
ISBN：9784761929213

参考書

書名：古田 薫・山下晃一
著者名：法規で学ぶ教育制度
発行所：ミネルヴァ書房
・北海道教育委員会ホームページ「令和5年 北海道教育行政執行方針」
(<https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ksk/156257.html>)
・文部科学省ホームページ「第4期教育振興基本計画（リーフレット）」 (https://www.mext.go.jp/content/20230928-mxt_oseisk02-100000597_07.pdf)

その他

教育職員免許法に基づく中学校・高等学校の教員免許状取得に必要な「教育課程及び指導法に関する科目」における「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項」に対応しています。

試験期間

シラバス検索画面トップページ (<https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/>) 下部の「2024学年暦」を参照

学習プリント

あり

教職科目

情報5の1（選択必修）、商業5の1（選択必修）、高校数学5の1（選択必修）、中学数学5の1（選択必修）

関連受講科目

「教職概論」「教育原理」「教育課程論」

担当教員の実務経験

1986年から2021年まで34年間、北海道立高校で教員・教頭・校長の経験があり、高校現場の実態を踏まえた指導方法や技術を通して、教師を目指す学生たちの教職の基盤づくりに資するような授業実践に努めています。